

2021年10月8日

各位

相馬ガスホールディングス株式会社
株式会社バイオマスレジン福島

バイオマスレジン福島が浪江町北産業団地に工場建設

相馬ガスホールディングス株式会社（本社/福島県南相馬市原町区 代表取締役/渋佐寿彦）と株式会社バイオマスレジンホールディングス（本社/東京都千代田区 代表取締役 CEO/神谷雄仁）は、共同出資による合弁事業として株式会社バイオマスレジン福島（本社/福島県南相馬市原町区 代表取締役/渋佐寿彦）を2021年7月に設立し、浪江町北産業団地において工場建設を行うことを準備して参りました。

この度、株式会社バイオマスレジン福島は、浪江町との間で、工場立地に関する基本協定について合意し、その締結式を令和3年10月8日（木）15時00分より開催いたしました。

新工場では、お米（非食用米）から作るバイオマスプラスチック「ライスレジン」を主に生産します。ライスレジン、元来地球上にある植物を原料とするため、地上の二酸化炭素の増減に影響を与えない「カーボンニュートラル」の性質を持ちながら、従来のプラスチックと比べてもコストや成型性、強度などはほぼ同等というエコフレンドリーな新時代のプラスチック素材です。

また、新工場へのグリーン水素供給に係る実現可能性調査が、本年7月に環境省「脱炭素×復興まちづくり」JFS委託事業に採択され、既に新工場におけるグリーン水素供給の利活用の検討がスタートしております。具体的には、ライスレジン生成時の乾燥工程で熱を水素とガスを混焼させた電力および水素とガスを混焼させて発電した熱を活用することなどを検討しております。この取り組みを行うことにより、素材・生成工程の両方で二酸化炭素の削減につながります。

相馬ガスグループは、地域の総合エネルギー企業として、新工場の建設を通じて、新たな脱炭素へ向けた取り組みを行うことにより、地域創生、雇用創出を地元企業として実現して参ります。

■ 工場立地に関する基本協定締結式について

1. 日時

令和3年10月8日（木）15時

2. 出席者

浪江町長 吉田 数博 様

浪江町議会議長 佐々木 恵寿 様

副町長 小林 弘典 様

産業振興課長 清水 中 様

経済産業省福島新産業・雇用創出推進室 企画官 稲垣 勝地 様

経済産業省福島新産業・雇用創出推進室 室長補佐 鈴木 正義 様

福島県 商工労働部 理事 山寺 賢一 様

福島イノベーションコースト構想推進機構 事務局長 紺野 貴史 様

株式会社バイオマスレジンホールディングス 取締役副社長 中谷内 美昭 様

株式会社バイオマスレジン福島 代表取締役 渋佐 寿彦

株式会社バイオマスレジン福島 取締役社長 今津 健充

3. 次第

出席者紹介

挨拶（浪江町、株式会社バイオマスレジン福島）

協定書概要説明

協定書署名

写真撮影

4. 場所

浪江町役場 2 階 大会議室



■ 株式会社バイオレジン福島 工場概要



- ・ 所在地 福島県双葉郡浪江町大字北幾世橋地内
- ・ 総工費 9.9 億円
- ・ 面積 土地 : 2.11ha
工場 : 1,776 m² (延床面積)
設備 : ライスレジン製造設備 × 2ライン
- ・ 従業員数 10 名~15 名 (予定)
- ・ 生産量 5t/日でスタート、10t/日を目指す。約 3,000t/年を見込む。
- ・ 工程 2021 年 11 月着工~2022 年 8 月生産開始予定

■ 浪江町におけるバイオマスレジン製造プラント等へのグリーン水素供給等に係る FS 事業について（環境省「令和3年度「脱炭素×復興まちづくり」FS 委託業務に採択）

・ 業務の目的

「脱炭素」と「復興」の両立に向けた取組を推進するため、環境再生事業と連携しつつ、脱炭素、資源循環、自然共生の視点を踏まえた、「脱炭素×復興まちづくり」の先進モデル創出を図る。

・ 実施体制

【代表事業者】 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング

【共同事業実施協力者】 相馬ガスホールディングス、スマートアグリ・リレーションズ、バイオマスレジン福島

・ 実施期間

2021年8月～2022年3月

・ 今後の展開について

FS 委託業務で策定したレジンプラントにおけるエネルギー利活用ロードマップの実現に向け、事業性評価を踏まえつつ、レジンプラント等に対するグリーン水素等の導入を図る。

また、本事業モデルが構築されたのちは、同モデルを浪江町以外に立地するレジンプラントにも横展開していくことで、他地域においてもゼロエミッションプラントの実現を図っていく。

■ 相馬ガスグループのこれまでの水素社会への取り組み

2015年3月に北九州市にて、水素ステーションや八幡製鉄所から出る副生水素をパイプラインで住宅に供給する実証実験の現場などを見学し、また、南相馬市や福島県などで水素社会の勉強会を何度か開催し、水素社会への取り組みを提案いたしました。その後、福島県のイノベーションコースト構想に水素社会への取り組みが盛り込まれることとなりました。

2016年5月に南相馬市内で水素社会シンポジウムを開催し、水素社会の権威である東京理科大学教授の橋川武郎先生に基調講演を実施いたしました。

自社グループの事業として、2017年7月にSHS（スマート水素ステーション）を設置し、その後継続的に水素関連事業に取り組んでおります。



【本件についての問い合わせ先】

相馬ガスホールディングス株式会社 専務取締役
(株式会社バイオマスレジン福島 取締役社長)
今津 健充
TEL : 0244-22-4101 / Fax : 0244-24-0580